



第748号  
〒144-0052 東京都大田区蒲田 5-10-2 日港福会館 5階  
Tel 03(3733)5621 Fax 03(3733)5622  
メール roren@knsu.jp  
ホームページ http://knsu.jp/  
全国検数労働組合連合  
書記局

11月9日(木) 10:00~10:30 第2回 検数労連23冬季一時金交渉  
23冬季一時金スト権、高率で確立!

スト権を背景に、要求に沿った回答を求める!

《23冬季一時金 スト権 全国集約結果》

地区名	項目	賛成	反対	白紙	棄権	合計
全国	冬季一時金	940	7	10	3	960
	諸要求	941	6	11	2	960
	港湾の軍事利用	916	27	14	3	960

【23冬季一時金スト権】  
23冬季一時金スト権確立に向け、10月28日(土)から11月8日(水)17時までを投票期間として中央集約を行った結果、左記の表

の結果通り、高率で確立したことを報告します。  
この投票結果を受け、来るべき有額回答指定日に向けてスト権を背景に両協会に対して組合員の期待や今一時金にかける思いなどを強く主張していきます。

【23冬季一時金スト権】

11月9日(木)第2回検数労連23冬季一時金交渉で、組合は両協会に平均賃金や平均勤続年数、従業員数などを記載した基礎数字の提示を求めました。

《組合主張》

前回の交渉で、要求提出を行ってから一週間が経過し、全国でスト権集約を行っている間、各地域から様々な声が寄せられた。

業界紙などの報道によると、貨物全体の取扱量が全体的に落ち込んでおり、船社の収益も前年度比を下回っているとのことだが、そのような状況でもコロナ禍以前を下回っておらず、好調をキープしている状況であるといえる。

職場の状況では相変わらず人員不足のなかで休暇を返上して働いているとの声が散見しており、今一時金に対する期待の声は日に日に高まっている状況である。また、その結果が今一時金のスト権結果に反映されている。

両協会においては日々職場で奮闘している従業員の声に耳を傾け、組合要求に沿った回答の構築を強く求める。

《両協会》

前回交渉で出された要求書の内容、また今交渉でのスト権投票結果の内容を受け、来るべき時期に向け様々な角度から精査し、回答を構築していく考えである。

次回交渉

第3回 検数労連23冬季一時金交渉

11月16日(木) 14:00~

両協会の収支状況や回答構築に向けた考え方の披歴を求めています。